



### かつお料理の実演・実食

■6月27日、枕崎お魚センターで行われ、「かつおづけの巻き巻き」「かつおと野菜の甘酢あんかけ」などのメニューが振る舞われました。訪れたお客さんは美味しそうにかつお料理を食べていました。



### 今年も水難事故が起きませんように

■水難事故への注意喚起と水の恵みに感謝する行事「水神講」が、7月2日に山下公民館で行われました。公民館での神事の後、参加した子どもたちは、今年も水難事故が起きないように、地域の井戸や花渡川でお参りをしました。



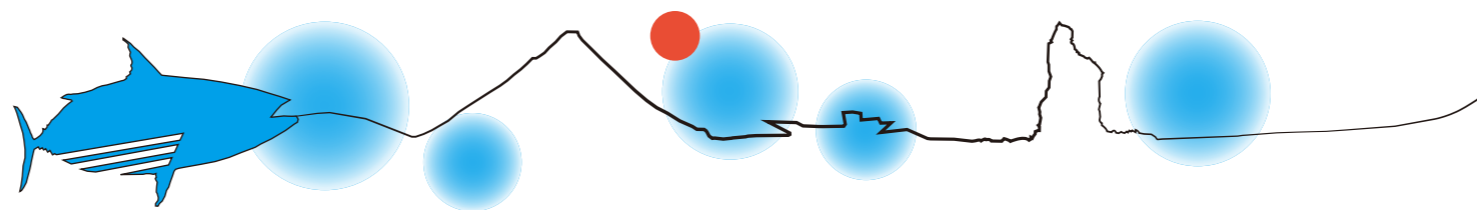
### それぞれの思いを力強く発表

■枕崎市中学校弁論大会が7月16日、市民会館で2年ぶりに開催され、市内各中学校の代表8名が発表しました。今年も枕崎市中学校生徒連盟が中心となって司会・進行、あいさつ、審査等を行いました。



### 海の日環境美化活動

■7月22日、恒例の海の日環境美化活動が海岸一帯で行われ、多くの市民がボランティアで参加しました。1時間ほどの作業で約3トンのゴミを収集しました。



### 2年ぶりに練習の成果を披露 ～枕崎少年少女合唱団第13回定期演奏会

7月4日、翔風館で枕崎少年少女合唱団の定期演奏会が開催され、保護者など関係者が集まりました。

演奏会では、手のひらを太陽などの合唱曲や2021年にヒットした曲のホットメドレーが歌われたほか、音楽劇「くまのこうちようせんせい」も披露されました。

毎年開催されていた定期演奏会でしたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、今年度はフェイスシールドなどの感染症対策を実施したうえで練習を重ね、また5月にはオリジナルのCDを制作し、配布するなどコロナ禍でもできる活動を続けてきました。

同合唱団の山下姫菜<sup>ひなな</sup>さんは「コロナ禍で大変だったけど、今まで練習してきた苦勞が達成感になった」と話してくれました。



### 100歳おめでとうございます ～下園ミネさん(妙見町)

下園ミネさんが7月20日、めでたく100歳の誕生日を迎え、同日、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎で生まれ育った下園さんは、山形屋の縫製部に務め、2人の子どもに恵まれました。趣味は裁縫や縫物で、最近は畑で野菜を作ったりもしているそうです。長生きの秘訣は、「おらかな性格で、食べ物の好き嫌いがいいこと」と話します。

これからも元気で長生きしてください。



### ゴッホの絵画が現代に蘇る ～親愛なる友フィンセント 動くゴッホ展

7月11日から南浜館で「親愛なる友フィンセント 動くゴッホ展」が開催されています。動くゴッホ展では、ゴッホが残した多くの手紙の中に表現された動く作品のエッセンスに注目し、世界中に点在する美術館が収蔵するゴッホ作品をベースに、西日本初のデジタルファインアート展という新たなスタイルで、約860点も作品を映像で紹介しています。

7月13日には、桜山小学校の6年生の児童が図工の授業の一環として南浜館を訪れ、ゴッホの代表作「ひまわり」や「星月夜」などの作品を鑑賞し、芸術作品に触れる貴重な体験をしました。

「親愛なる友フィンセント 動くゴッホ展」は9月5日まで開催予定で、8月21日、22日の2日間は「南浜館ひまわりマルシェ」も開催予定です。ぜひお越しください。



### 100歳おめでとうございます ～山崎ユミさん(立神本町)

山崎ユミさんが6月20日、めでたく100歳の誕生日を迎え、21日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎で生まれ育った山崎さんは、4人の子どもを育てながら、非常勤の看護師や助産師として働き、その後、父の社会保険労務士の仕事を手伝いました。趣味は手芸で、長生きの秘訣は、「自然のままに生きること」と話します。

これからも元気で長生きしてください。

## 旬のお便り 地元生産者応援企画 枕崎で生産される旬の農産物を紹介します!



### 菊

#### 奈

良時代に中国から伝わってきたとされる菊は、古くから日本にゆかりがあり、多くの人に親しまれています。皇室の紋章にも使用され、パスポートの表紙や50円硬貨にも使用されるなど、桜や梅と並んで日本を象徴する花の一つです。花言葉は「高貴」「高潔」「高尚」などで、気品のある美しい花を咲かせます。

一般的には秋にかけて旬を迎える花ですが、花芽の形成と開花時期を遅らせる電照菊の栽培により、年間を通

して生産されています。枕崎は県内でも有数の菊の生産地で、特に大塚地域で菊の栽培が盛んです。

現在は赤、ピンク、オレンジ、紫、などさまざまな色の菊が生産されています。お盆を迎えるこの時期、地元枕崎の菊でご先祖様をお迎えしてはいかがでしょうか。

### 電照菊の栽培

日照時間が短くなると花を咲かせる菊の性質を利用して、人工的に光を当てて開花時期を遅らせて栽培する方法です。この栽培方法により、年間を通して菊の生産が行われています。

